

すみだパークスタジオ STUDIO Dede x D-musica ステージ

8月20日 14:00 Scene of Jazz@すみだパークスタジオ STUDIO Dede x D-musica ステージ
メンバー：安カ川大樹(Ba) 石井彰(Pf) 大坂昌彦(Dr)



Scene of Jazz

2006年に大坂昌彦、石井彰、安カ川大樹という現代J-ジャズ・シーンのトップ・ミュージシャンによって結成されたトリオ・ユニット=シーン・オブ・ジャズ

石井彰(pf) 1963年生 大阪音楽大学作曲科在学中、ビル・エバンスを聞き衝撃を受け、ピアニストを志す。98年より日野純正(tp)クインテットに参加し、故日野元彦(ds)からも多大な影響を受ける。2001年には、飯山昌之(b)、江藤良人(ds)からなるオリジナルトリオで初リーダーアルバム「Voices in The Night」(EWE)を発表、その幅広い音楽性は、聴く者に多面的な印象を与え、常にその根源にあるものは、音楽に対する真摯な姿勢と、溢れんばかりのしなやかな生命力である。それらが、特有の豊かな表現力と優れたバランス感覚によって芸術へと昇華され、多くの人々を魅了している。

大坂昌彦(ds) 1969年9月28日生まれ。1986年奨学金を獲得し、パーカーリー音楽大学に留学。在学中にデルフィーノ・マルサリスのバンドに在籍し全米各地のジャズフェスに出演。NYでの活動後、1990年に帰国。大坂昌彦・原朋直クインテットを結成。アルバム6枚をリリース。うち二枚がスイングジャーナル誌でゴールドディスクに選定される。一方、日米混合バンド、ジャズネットワークスでもアルバム4枚をリリース。自己のアルバムも5枚リリースしており3枚目の「ウォーキング・ダウン・レキシントン」はスイングジャーナル誌で制作企画賞を受賞する。スイングジャーナル誌読者投票ドラム部門では1995年より一位に選出され続けている。1997年より洗足学園音楽大学ジャズコースの講師も務めている。

安カ川大樹(ba) 1967年 兵庫県出身。幼少時からピアノを学び、明治大学でビッグバンドに入団したのを機にベースに転向。1991年 プロ活動を開始。以後国内外を問わず数多くのセッションに参加し、現在まで参加したアルバムは優に100枚を超え、数々の名盤名演を世に送り出している。2008年 D-musica設立。同レーベル代表。2009年より昭和音楽大学 ジャズ科 非常勤講師に就任。リーダー作として2002年完全ベースソロによる「Let My Tears Sing」、同年トリオ、YA 3による「Loco」、2004年安カ川大樹トリオによる「Kakeroma」(以上East Works)、また2007年には自身が主催するラージコンボによる「Far East Jazz Ensemble」(Skip Record)がある。全世界を舞台に活躍する、日本を代表するベーシストである。

8月20日 15:00 古谷淳TRIO@すみだパークスタジオ STUDIO Dede x D-musica ステージ

メンバー：古谷淳(Pf) 中林薫平(Ba) 柴田亮(Dr)



古谷淳(Pf) ジャズピアニスト/作曲家 高校より渡米、オハイオ州グレングレンオークハイスクールのビッグバンドGlen oak Jazz Eastのピアニストとしてアメリカやカナダで演奏する。その後ボストンのパーカーリー音楽院へ編入。在学中よりプロとしてボストン、ニューヨークを中心に活動始める。名門老舗クラブ、ウォーリーズへの出演をはじめ、数々のコンサート、レコーディングに参加。トップジャズミュージシャン達-ボブ・ガロツティ、ウォーレン・ウルフ他 -とも交流、共演を重ねる機会に恵まれる。米国アーティスト・ピザを取得後アメリカのみならず日本、カナダ、韓国をはじめ各国で演奏を行う。2005年夏、韓国の「Jarusam Jazz Festival」にモンク・コンペティション'97優勝者、ダレン・パレットと共に出演。現在自己のプロジェクトの他、安カ川大樹、山本昌広、川崎晋郎、村田重一、大森明、井上隆介、ジーン・ジャクソンなど数々のミュージシャン達と共演、様々なプロジェクトに参加する傍ら、出身地山梨県においての更なるジャズ普及、そして優れたミュージシャンの育成のため幅広い活動を行っている。2009年ベーンスト安カ川大樹主宰のレーベルD-MUSICAより1stリーダー・アルバム「Exprimo」をリリース。

2010年安カ川大樹アルバム「rios」参加。

2011年7月20日2ndリーダー・アルバム「Home Songs」リリース

中林薫平(Ba) 高校入学と同時に甲南高校ブラサンサンブル部に入部し、ウッドベースを始める。高校生ビッグバンドのコンテストである、Student Jazz Festivalにおいて、2年連続1位となる。甲南大学に入学し、JAZZ研究会に入部。2003年守口・門真ジャズコンテストでは、グランプリ、ベストプレイヤー賞を受賞。卒業後、日野純正、吉田次郎、嶋本高之らと共演し、2005年に上京。山口真文バンド、佐山雅弘トリオ、鈴木龍「OMA SOUND」、市原ひかりGroup等でプレイする。

2008年に自己のカルテットを結成し、ミニアルバム「Graftiti」をリリース。

現在最も多忙なベーシストの一人として活躍している

柴田亮(Dr) 幼少の頃から音楽に親しみ、10歳の頃、ドラムに出会う

関西での演奏活動のちボストンのパーカーリー音楽院にてTerry linn Carrington, Mark walkerにドラムを師事。また、在学中には客員教授である小曾根真氏のマスタークラスを受講し、氏を通じて現在NYにおいて最も多忙なドラマーの一人Clarence Pennとも交流を深める。2007年から卒業に至るまで同校の学生選抜グループに参加しオレゴン、カリフォルニア州へのツアーや、JVC Jazz Festival in NYCに出演。そして同年9月に同校において最も栄誉とされるBerkeley Monterey Curete2008の一員としてMonterey Jazz Festivalに出演する。その時の演奏はとも好評で、地元新聞氏に絶賛され、その時のライブ音源が地元ラジオ局からカリフォルニア全土に放送された。帰国後都内を中心に活動を開始、ライブやレコーディング他、各国のジャズフェスティバルへの参加等国際的な活動を展開中

8月20日 16:00 佐藤浩一カルテット [Bungalow] @すみだパークスタジオ STUDIO Dede x D-musica ステージ

メンバー：佐藤浩一(Pf) 山本昌広(as,ss) 池尻洋史(b) 大村亘(ds)



佐藤浩一(pf) 1983年横浜市出身。来パーカーリー音大卒。5歳よりピアノを、16歳からジャズピアノを始める。洗足学園音楽大学でトム・ピアソン氏、元岡一英氏に師事。2005年浅草ジャズコンテストで「空里陽太Quartet」としてグランプリを受賞。同年夏渡米・パーカーリー音楽大学に留学。JoAnne Brackeen, Alain Mallet, Danilo Perezらに師事。2006年「ピアノデパートメントアチーブメント賞」受賞。ノーステキサス・ジャズフェスティバルで「アウトスタンディングソリスト賞」受賞。

同校卒業後ニューヨークに移住。Kevin Haysに師事。2008年帰国し都内を中心に演奏活動始める。2009年にボストンでのレコーディングに招かれ、John Lockwood(b)やZe Eduardo Nazario(ds)らと共演。2010年には小林桂(vo)のレコーディングにもアレンジャー兼ピアニストとして参加。2011年、ポニーキャニオンより初のリーダーアルバムをリリースし、メジャーデビュー。

現在、自己のバンド「Bungalow」や自己のトリオをはじめ、Routine Jazz Quintet, hip chick(市原ひかり、倉内達矢、川内啓史、小笠原拓海)、大隅寿男(ds)グループ、布川俊樹(g)カルテット、安カ川大樹(b)グループ、橋爪高賢(ts)グループ、市野元彦(g) rabbitoo、佐藤孝子(sa)トリオオーケストラなど、さまざまなバンドに所属する。横浜ジャズプロムナード、上田Jointなどの国内ジャズフェスティバルの出演や、上海・香港・台湾での公演など、活動は国内外を問わず多岐に渡る。

★公式HP <http://koichisato.com/>

山本昌広(as/ss) 1980年、神戸生まれ。甲南中学入学と同時にアルトサクスを始める。高校二年生のときには部長を務め、チューアメントジャズフェスティバルで神戸市長賞、個人賞を獲得する。18歳のときに小曾根真氏に会い、5年間師事する。高校卒業後は甲南大学に進み、Newport Jazz Orchestraの一員として、一回生のときに山野ビッグバンドジャズコンテストで10位入賞を果たす。大学入学後は地元のクラブや大阪のライブハウスなどで、自己のバンドや、ほかのミュージシャンたちとも精力的に活動する。甲南大学卒業後、NYのNew School Universityに進学し、在学中から様々な種類の音楽、バンドで活動する。Jane Ira Bloom, George Garzone, Sonny Fortune, などと共演する。そして2007年5月に卒業。現在ではRachel-Zのバンドで、Blue Note & Dizzy's Clubに出演。Jeremy Peltとも共演し、高い評価を得る。自己のバンドでも精力的に活動中。

池尻洋史(b) 1979年生まれ。千葉県出身。幼少の頃よりエレキトーンを習い、即興演奏に興味を持った。中学、高校と吹奏楽部に所属し、様々な楽器にふれる機会を得た。千葉大学に入学し、モダンジャズ研究会に所属。アコースティックな低音の世界に惹かれ、Jazzコントラバス奏者を志し、山下弘治氏に師事。在学中より、積極的なセッション活動とストリート演奏を通して、演奏技法に磨きをかけ、徐々にライブセットでの演奏に活動を展開した。アンサンブルにおいて、刺激の中心となりつつもサウンドの基礎をしっかりと支えることを信条としている。2007年には横浜ジャズプロムナード・コンペティションにてグランプリ受賞。2008年にはNHK-FM Session-2008に出演。

大村亘(ds) 1981年東京都出身。幼い頃より米国で育ち、クラシカルピアノを通じ音楽と親しむ。人生のほとんどを海外で過ごす。オーストラリアの国立音大 Sydney Conservatorium of Music卒業後日本に帰国。増尾好秋、鈴木良雄、井上信平、安カ川大樹をはじめとする、国内の著名なミュージシャンと共演しながら、若手でも頭角を現しはじめていく多くのミュージシャンと頻りに共演している。日本全国のみならず、中国、香港、オーストラリア、アメリカはじり海外の様々な国でも精力的に演奏活動を行いながら日々精進中。 <http://www.myspace.com/koomura>

8月20日 17:00 佐藤恭子トリロオーケストラ@すみだパークスタジオ STUDIO Dede x D-musica ステージ

メンバー：佐藤恭子(as) 土井徳浩(cl,as) 西口明宏(ts,cl,fl) 竹村直哉(bs,b-cl) 田中一徳(tp,fl,h) 谷殿明良(tp,fl,h) 駒野逸美(tb) 寺屋ナオ(guitar) 佐藤浩一(piano) 安田幸司(bass) 大村亘(ds)



佐藤恭子トリロオーケストラ

2003年、佐藤恭子がボストン留学中に、パークリー音大のクラスメイトを集めたトリロオーケストラとしてスタート。Kyoko Satoh and her "Little" Jazz Orchestra(佐藤恭子トリロオーケストラ)として活動。元ウディ・ハマーンジャズオーケストラのリードトロンボニストで作曲家としても名高いフィル・ウィルソン氏の目にとり、彼のサポートによって、NY及びボストンにて、JVC ジャズフェスティバル (New York), ウォーターメンジャズフェスティバル (Massachusetts), パークリージャズフェスティバル(Boston, MA), モニュメントミュージックコンサートシリーズ (Swampscott, MA)などを始め、多くのジャズフェスティバルやコンサートなど出演する。当時のメンバーの中には、クリスチャン・スコット (tp, 自身のバンドでグラミー賞ノミネート)を始め、ニア・フェルダー(g,グレッグオズビーバンド)、Nick Falk (ds,昨年ハービーハンコックと上海ツアー)など、ここ数年、めきめきとジャズシーンにて頭角をあらわしているプレイヤーが集結していた。

2007年、東京に拠点を移した彼女が、東京の第一線で活躍する同世代のミュージシャンを集めて、「佐藤恭子トリロオーケストラ」として、渋谷JZBrat、新宿PitInn、高田馬場カフェコッククラブ、横浜カモなどを中心にライブ活動を展開。2008年の阿佐ヶ谷ジャズストリートでは、最終日大トリをつとめ、大盛況にて好評を得る。2年間の活動休止していたが、2011年春、「佐藤恭子トリロオーケストラ」として、活動再開。作編曲はすべて彼女が行い、彼女の最大の魅力であるオリジナル曲の数々、斬新なアレンジメントを施したジャズスタンダードや日本の懐かしい歌など、レパートリーの素材は幅広い。本人曰く「キャンパスに絵を描くように作編曲をする」スコア、そして、バンドメンバー全員がソリストであり、セッションプレイヤーであり、一つのオーケストラの中で多数のジャズコンボが同時進行するようなそのサウンドは、非常にユニークなものである。今後の活躍が大いに期待される。

佐藤恭子(as) 横浜国立大学在学中にアルトサクソフとジャズに出会う。「横浜国立大学モダン・ジャズ・研究会」と「早稲田大学ハイ・ソサエティ・ジャズ・オーケストラ」に参加。池田篤氏に師事。パークリー音楽大学及びローター財団から奨学金を獲得し、大学卒業後、1年半のOL生活を経て渡米、パークリー音楽大学に留学する。パークリー音大では、ジャズ作曲科を専攻し、Ted Pease, Greg Hopkins, Phil Wilsonに師事。また、サクソフをFrank Tiberi, Shannon LeClaire, George Gazzoneに、インプロヴィゼーションをDave Santoro, Ed Tomassi, Hal Crookに、指揮法をValerie Taylorに師事。バンドリーダー、作曲家として評価され、「トシコ・アキヨシ・アワード」を、演奏家として「ウッドウィンド・デパートメント・アワード」を受賞。JVCジャズフェスティバル等数々のジャズフェスティバルやコンサートに出演。同大学を卒業後、NY及びボストンにて演奏活動及び、インストラクター、アレンジ提供等で活躍。マンハッタン、ハーレムのジャズクラブを中心に、数多くの第一線のミュージシャンと共演をかさねる。東京に拠点を移してからは、自己のオーケストラ、スモールグループを中心に、演奏家及び作曲家として、ジャンルにとらわれず幅広く活躍し、2008年にはアルバムを2枚リリース。サイドメン、講師、レコーディングなども行う。2009年より体調不良によりしばらく演奏活動を休止していたが2010年下半期より復帰。今後の更なる躍進が大いに期待できる。

西口明宏(ts,cl,fl) 中学入学よりテナーサクソフを手にする。18歳より小曾慎吾氏にサクソフを師事。京阪神エリアで演奏活動始める。2003年にボストンパークリー音楽院に入学し、George Garzone, Frank Tiberiにサクソフを師事。4年間のニューヨークでの活動後2010年に帰国、同年9月レーベルD-Musicaよりデビューアルバム「Tre Agrable」を発表。現在活動の拠点を日本に移し様々なバンドでの活動や後進の育成のため精力的な活動を行っている。 <http://www.akihiroshiguchi.com/>

竹村直哉(bs,b-cl) 1979.2.9生。中学入学と同時にクラリネット、翌年よりアルトサクソフを始める。早稲田大学入学後は、「早稲田大学High Society Orchestra」に所属。学生時代よりプロ活動を始め、現在はバリトンサクソフを軸としたマルチリード奏者として、数多くのビッグバンドなどでのライブ活動の他、「The Manhattan Transfer」、「EXILE」、「榎原敬之」、「鈴木雅之」、「BoA」、「Bonnie Pink」などのサポート、劇団四季・宝塚歌劇団・東宝ミュージカルなど多数の劇団やスタジオワークなどを行っている。 <http://ameblo.jp/nk/>

田中一徳(tp,fl,h) 1988年2月6日生まれ。東京都出身。トランペットを津堅直弘、小泉貴久氏に師事。国立音楽大学卒業。演奏応用(JAZZ)コース修了。2007年より国立音楽大学ニュー・タイド・ジャズ・オーケストラに参加し、2009年第40回 山野ビッグバンドジャズコンテストに於いて三連覇を達成。コンサートマスターを務める。同年、歌舞伎座にて行われた「銀座インターナショナル・ジャズ・フェスティバル」にて、渡辺貞夫氏と共演。森山開次ソロダンスツアー2010「TSUBASA」、Paris Match、氷川きよしのツアーに参加する等、多方面に活動をしている。

谷殿明良(tp,fl,h) 1983年7月18日生まれ。京都出身。幼少よりピアノ教室に通い、中学校入学時に吹奏楽部に入部し、トランペットを始める。以後、高校卒業まで吹奏楽部で活躍。同時に同級生等とジャマイカ音楽であるスカ・バンドを結成し地元のライブハウスにて活動。高校3年時にボストンのパークリー音楽院より奨学金を受け、卒業後渡米。パークリーでは作曲/編曲を中心に勉強し2006年卒業。その後1年間ニューヨークで修行したのち帰国。2007年10月より東京に拠点を移し、ジャズを中心に幅広いジャンルでの演奏活動、レコーディング等を行っている。スウィングジャーナル誌「第60回日本ジャズメン読者人気投票」トランペット部門10位。タイガー大越氏、ハル・クルック氏、ジョン・スワナ氏、宮村聡氏、野間裕史氏に師事。 http://www.gocities.jp/akira_1_web/

駒野逸美(tb) 1988年生まれ。千葉県出身。小学校ではCornetを吹き、中学校入学と共にTromboneを始める。尚美学園大学Jazz&Popsコースにて西山健治氏に師事。在学中にもライブやセッションに参加する。2010年3月尚美学園大学芸術情報学部音楽表現学科J&Pコースを卒業。今までに、杉原淳Super Sax Session黒川さくらフェスタ、Mike Price Big Band、松山千春CDレコーディング、Aaron ChoulatのQuintetに入り都内を中心とするライブに参加。2010年10月にはオーストラリアのツアーに参加。他にも多数ライブ出演。 <http://komanotsumi.weebly.com/>

寺屋ナオ(gu) 8才でギターを始め、13才でジャズに出会う。高校時代に布川俊樹に師事。高校卒業後、洗足学園短期大学ジャズコースに入学。道下和彦に師事。洗足卒業後、2000年ギブソンジャズギターでコンテストで最優秀賞。2003年、1stアルバム「T.G.I.F.(thank god it'sFriday)」、2006年、2ndアルバム「Night Music for You」を発表。最新アルバムは2010年4月発売の「Three」、過去の共演者は、山下洋輔、向井滋春、中村誠一、大坂昌彦、吉野光昭、等多数。(順不同敬称略) <http://www.naoteraya.com/>

佐藤浩一(pf) 1983年横浜市出身。米パークリー音大卒。JoAnne Brackeen、Allan Mallet、Danilo Perez、Kevin Haysらに師事。2006年ノーステキサス・ジャズフェスティバルで「アウトスタンディングソリスト賞」受賞。現在、自己のバンド「Bungalow」や自己のトリオをはじめ、大隅寿男(ds)グループ、安川大樹(b)グループ、橋爪亮賢(ts)グループ、小林桂(vo)グループなど、さまざまなバンドで活躍中。 <http://www.koichisato.com/>

安田幸司(ba) 1976年11月3日生まれ。O型。千葉大学入学と同時にベースをはじめ。山下弘治氏に師事。在学中から、同世代のミュージシャンとセッションを重ね、シーンを変え、多くのミュージシャンと共演を重ねる。包容力のあるベースサウンドと安定したグループで、共演者を支える暖かいプレイが好評。現在は、TOKU(vo/fl,h)、川崎哲郎(ts)、辛島文雄(pf)、石田衛(pf)、田窪寛之(pf)、山田貴子(pf)、福井亜実(pf)のバンド等で精力的に活動中。 <http://jmsu.web.fc2.com/koji/>

大村亘(ds) 1981年東京都出身。幼い頃より米国で育ち、クラシックピアノを通じ音楽と親しむ。人生のほとんどを海外で過ごす。オーストラリアの国立音大 Sydney Conservatorium of Music卒業後日本に帰国。増尾好秋、鈴木良雄、井上信平、安川大樹をはじめとする、国内の著名なミュージシャンと共演しながら、若手頭角を現しはじめている多くのミュージシャンと頻りに共演している。日本全国のみならず、中国、香港、オーストラリア、アメリカをはじめ海外の様々な国でも精力的に演奏活動を行いながら日々精進中。 <http://www.myspace.com/koomura>

すみだパークスタジオ STUDIO Dede x D-musica ステージ 8/21

8月21日 12:00 高田ひろ子TRIO@すみだパークスタジオ STUDIO Dede x D-musica ステージ

メンバー：高田ひろ子(Pf) 安カ川大樹(Ba) 橋本学(Dr)



高田ひろ子(Pf) 5歳からピアノを学ぶ。中学の頃からクラシックと平行してフュージョン系の音楽に興味を持つ。大阪芸大在学中から、ライブ活動始める。81年上京。ジャズ音楽の基礎を高瀬アキ氏に学ぶ。また現代音楽技法と作曲法を平尾はるな、松平頼暁両氏に師事。92年「ピアノウ」で柳 慧、ジョルジュリグティの作品を演奏。ジャズをベースにした様々なグループやセッションで活動してきた。また民族楽器との共演も多い。現在は自己のカルテットやトリオ以外にも、造 淳子(vo)、清水 翠(vo)、藤本 隆文(vib)等とのコラボレーションやソロなどでも活動中。また96年～99年、スイスのベーシストBaenz Oesterとのデュオでスイス、及び日本でツアーを行った。

安カ川 大樹 (b) 1967年 兵庫県出身。幼少時からピアノを学び、明治大学でビッグバンドに入部したのを機にベースに転向。1991年 プロ活動を開始。以後国内外を問わず数多くのセッションに参加し、現在まで参加したアルバムは優に100枚を超える、数々の名盤名演を世に送り出している。2008年 D-musica設立、同レーベル代表。2009年より昭和音楽大学 ジャズ科 非常勤講師に就任。リーダーとして2002年完全ベースソロによる「Let My Tears Sing」、同年トリオ、YA 3による「Loco」、2004年安カ川大樹トリオによる「Kakeroma」(以上East Works)、また2007年には自身が主催するラーゼコンボによる「Far East Jazz Ensemble」(Skip Record)がある。全世界を舞台に活躍する、日本を代表するベーシストである。

橋本学(Dr) 幼少時7年程バイオリンを経験。中学校吹奏楽部にてドラム・パーカッションを始める。横浜国立大学入学後モダンジャズ研究会にてジャズ・フュージョン活動を開始。在学中にリットーミュージック社ドラママガジン誌上ドラムコンテスト'98にて「TOSHI・NAGAI賞」を受賞。卒業後、インディーズバンド「GANA LOU」、「STAY」を経てジャズ活動へ。99年横浜ジャズプロムナード・コンペティションにて平田崇トリオで「洗足学園賞」受賞。同年浅草ジャズコンテストにて、西本康朗カルテットで金賞受賞。2000年横浜ジャズプロムナード・コンペティションにて西本康朗カルテットでグランプリ受賞。現在、多数のバンドで都内および近郊のライブ活動を行いながらツアー・レコーディングも行う。2005年より自身のプロジェクト「橋本学trio」をスタート、作・編曲を手がける。また、2006年より、同郷同年代のdrummer山北弘一との2drumユニット「橋本学trio」も持っている

8月21日 13:00 堀秀彰TRIO@すみだパークスタジオ STUDIO Dede x D-musica ステージ

メンバー：堀秀彰(Pf) 高瀬裕(Ba) 柴田亮(Dr)



堀秀彰(Pf) 1978年12月8日千葉県出身。10才までは北海道で育つ。幼少より楽器に親しみ、高校時代でジャズに感動して本格的にピアノを始める。早稲田大学モダンジャズ研究会で腕を磨き、その頃からプロとしての活動を開始。センスあふれるコードワーク、繊細でありながらも情熱的なプレイで、ベテランから若手にいたるまで大きな信頼を得ている。2007年SwingJournal誌の読者人気投票では、激戦区ピアニスト部門で11位にランクイン。Eddie Henderson、Gene Jackson、井上陽介、大坂昌彦、鈴木良雄、原明直、向井滋春、村田陽一、各氏をはじめ、国内外の著名アーティストとの共演歴も多い。ポプスフィールドでは、Dreams Come True・ParisMatch・SILVA・DA PUMP・青山テルマのアルバムや、インコグニートのVocalメイザー・リックなど、多くのアーティストとのレコーディングセッションに参加。ライブでは、Dreams Come Trueのツアーサポートや、ParisMatchのライブにもサポートメンバーとして同行している。また、クラブシーンでもM-SWIFT、24caratの主要メンバーとして活躍中。現在、自己のカルテット「Encounter」(堀秀彰&浜崎朝)、堀秀彰トリオ、市原ひかりグループ、安カ川大樹「FEJ」、山口真文グループ、増原廉「What's Up?」、ParisMatch、などを中心に日本全国のジャズクラブ、コンサート、フェスティバル等で活躍中。アルバム「Nature of Mind/Encounter」はジャンルを問わず、あらゆる方面からの評価が高い。

高瀬裕(Ba) 1970年3月28日、広島県生まれ。栃木県大平町育ち。15歳頃よりエレキトリックベースを弾き始め、中学～高校時代は80年代洋楽ブームの影響を受けハードロックバンド等で活動した。大学在学中にジャズに目覚め、コントラバスを始める。鈴木 淳氏、杜 哲也氏(音楽理論)に師事。2002年12月より新日本フィルの森園康一氏に師事。大学時代はジャズ研に所属せず、御茶ノ水NARUでアルバイトをしながら、毎日のように一流プレイヤーの演奏を生で聴く機会を得る。この経験がプロになることを決意させたと同時に、演奏活動に対する姿勢に大きな影響を与えた。卒業後、プロとしての活動を開始。現在参加しているグループは数多く、全国各地のライブハウスなどで素晴らしいミュージシャン達と活動中。グループ感を大事にしつつも、ていねいなプレイを心がけている。2007年、森下滋クインテットで「Monterey Jazz Festival」に出演。コントラバスの特長である、深みのある美しい音色を目指している。

柴田亮 (Dr) 幼少の頃から音楽に親しみ、10歳の頃、ドラムに出会う
関西での演奏活動のちボストンのパークリー音楽院にてTerry Inn Carrington, Mark Walkerにドラムを師事。また、在学中には客員教授である小原根真氏のマスタークラスを受講し、氏を通じて現在NYCにおいても最も多忙なドラマーの一人Clarence Pennとも交流を深める。2007年から卒業に至るまで同校の学生選抜グループに参加しオレゴン、カリフォルニア州のツアーや、JVC Jazz Festival in NYCに出演。そして同年9月に同校において最も栄誉とされるBerkeley Monterey Quirete2008の一員として「Monterey Jazz Festival」に出演する。その時の演奏はとも好評で、地元新聞紙に絶賛され、その時のライブ音源が地元ラジオ局からカリフォルニア全土に放送された。帰国後都府を中心に活動を開始、ライブやレコーディング他、各国のジャズフェスティバルへの参加等インターナショナルな活動を展開中

8月21日 14:00 大村亘TRIO@すみだパークスタジオ STUDIO Dede x D-musica ステージ

メンバー：大村亘(Dr) 佐藤浩一(Pf) 安田幸司(Ba)



大村亘(ds) 1981年東京都出身。幼い頃より米国で育ち、クラシカルピアノを通じ音楽と親しむ。人生のほとんどを海外で過ごす。オーストラリアの国立音楽 Sydney Conservatorium of Music卒業後日本に帰国。増尾好秋、鈴木良雄、井上信平、安カ川大樹をはじめとする、国内の著名なミュージシャンと共演しながら、若手 で頭角を現しはじめている多くのミュージシャンと頻りに共演している。日本全国のみならず、中国、香港、オーストラリア、アメリカはじめ海外の様々な国でも精力的に演奏活動を行いながら日々精進中。 <http://www.myspace.com/koomura>

佐藤浩一(piano) 1983年横浜市出身。米パーカー音楽大卒。JoAnne Brackeen、Allan Mallet、Danilo Perez、Kevin Haysらに師事。2006年ノーステキサス・ジャズフェスティバルで「アウトスタンディングソリスト賞」受賞。現在、自己のバンド「Bungalows」や自己のトリオをはじめ、大隅寿男(ds)グループ、安カ川大樹(b)グループ、橋爪亮吾(ts)グループ、小林桂(vo)グループなど、さまざまなバンドで活躍中。 <http://www.koichisato.com/>

安田幸司(bass) 1976年11月3日生まれ。O型。千葉大学入学と同時にベースをはじめ。山下弘治氏に師事。在学中から、同世代のミュージシャンとセッションを重ね、シーンに姿を現し、多くのミュージシャンと共演を重ねる。包容力のあるベースサウンドと安定したグループで、共演者を支える暖かいプレイが好評。現在は、TOKU(vo/th)、川崎哲郎(ts)、幸島文雄(pf)、石田衛(pf)、田窪寛之(pf)、山田貴子(pf)、福井聖実(pf)のバンド等で精力的に活動中。 <http://msu.web.fc2.com/koji/>

8月21日 15:00 小池純子TRIO@すみだパークスタジオ STUDIO Dede x D-musica ステージ
メンバー：小池純子(P) 安カ川大樹(Ba) 池長一美(Dr)



小池純子(P) 名古屋生まれ。20才からピアノトリオでプロ活動始める。一時、信州の山に移り住み、後インドに渡る。'91年上京。渡辺文雄らと活動。'98年渡米。後英ミュージシャンを率いたクインテットは絶大な人気を誇る。NHKセッション'97-'99に出演。'99初リーダーアルバム「UH HUH！」でCDデビュー。2009年 tsのJimmy HeathをフィーチャーしNYレコーディング。現在、東京、横浜を中心に、活動はトリオ、デュオ、ソロ、カルテット、クインテットと幅広い。

安カ川大樹(B) 1987年兵庫県出身。幼少時からピアノを学び、明治大学でビッグバンドに入部したのを機にベースに転向。1991年プロ活動を開始。以後国内外を問わず数多くのセッションに参加し、現在まで参加したアルバムは優に100枚を超え、数々の名盤名演を世に送り出している。2009年 D-musica設立、同レール代表。2009年より昭和音楽大学 ジャズ科 非常勤講師に就任。リーダー作として2002年完全ベースソロによる「Let My Tears Sing」、同年トリオ、YA3による「Loco」、2004年安カ川大樹トリオによる「Kakeroma」(以上East Works)、また2007年には自身が主催するラージコンボによる「Far East Jazz Ensemble」(Skip Record)がある。全世界を舞台に活躍する、日本を代表するベーシストである。

池長一美(Dr) 京都生まれ。12歳のとき独学でピアノ、ドラムスをはじめ。20歳のとき佐竹伸泰、河瀬勝博両氏に師事。1986年 上京、鈴木勲、金井英人他のグループで活動。1988年 パークリー音楽大学の全額免除奨学生として渡米。ジョー・ハント(元スタン・グッツ、ビル・エバンスのドラマー)に師事、その代役でボストンのジャズ・クラブを中心に演奏活動する。1990年 合衆国政府より滞在芸術家としてアイオワ州ルース大学でのジャズ科講師に迎えられ、ユニファイ・ジャズ・アンサンブルの一員として米国各地で演奏活動を行う。その他、さまざまなグループで北欧、ヨーロッパ、アジア、全米各地のジャズ・フェスティバルに多数出演。1995年 帰国後も毎年渡米し、ボストンのピアニスト パート・シーガーとのトリオ(通算4枚のCDをリリース)で活動を続け、1998年からは年一回の日本ツアーを現在も続けている。1999年~2000年 イタリアのベース・レジェンド アレス・タボラツィをはじめ、マルチェロ・アルーリ、デヴィット・ポトラと、現地のジャズ・フェスティバルに多数参加。2009年、2010年とデンマークのピアニスト マグナス・ヨルトとベーストベーター・エルドのトリオで日本ツアーを行う。2枚のCD(2009年国内ライブ盤、2010年デンマーク・スタジオ録音盤)をリリース。現在はパート・シーガーとのKJBトリオ、宮野裕司カルテット、石井彰トリオ、高田ひる子カルテット、西山隆トリオなど様々なセッションで活動中。コンテンポラリーなスタイルでは、難波弘之、水野正史と結成したAPJ、青柳誠トライフレーム等の活動でも知られている。空間を活かし、暖かく美しい音色で語りかける独自のドラミングスタイルに国内外を問わず強い支持者を持つ。洗足学園音楽大学の非常勤講師として後進の指導にもあたっている。

8月21日 16:00 福富博クインテット@すみだパークスタジオ STUDIO Dede x D-musica ステージ

メンバー：福富博(gt) 山本昌広(sax) 佐藤浩一(p) 小美濃悠太(b) 永山洋輔(ds)



福富博(gt) 大阪出身。14歳から独学でギターを始め、ロック、ポップス等を演奏する。高校卒業後、甲陽音楽院に入学し、ジャズに出会う。自己のグループを結成し、オリジナルを中心に演奏活動始める。その後、パークリー音楽大学の奨学金試験に合格し、2004年秋に同校留学。在学中は様々なコンサートやレコーディングに参加し、2006年には「Guitar Department Achievement Award」を受賞。ギターをJon Damian, Bret Willmott, Bruce Saundersに、インプロヴィゼーションをHal Crook, Dave Santoroに、アンサンブルをJoe Lovano, George Garzoneの各氏に師事。パークリー音楽大学卒業後、Ben Mondrickコードワークについて師事。2007年8月完全帰国し、都内を中心に自己のグループ等で活動中。2010年1月にリーダーアルバム「Rings of Saturn」をD-musicaより発表。

山本昌広(sax) 1989年、神戸生まれ。甲南中学入学と同時にアルトサクスを始める。高校二年生のときに部長を務め、スチューデントジャズフェスティバルで神戸市長賞、個人賞を獲得する。18歳のときに小曽根啓氏に出会い、5年間師事する。高校卒業後は甲南大学に進み、Newport Jazz Orchestraの一員として、一回生のときに山野ビッグバンドジャズコンテストで10位入賞を果たす。大学入学後は地元クラブや大阪のライブハウスなどで、自己のバンドや、ほかのミュージシャンたちとも積極的に活動する。甲南大学卒業後、NYのNew School Universityに進学し、在学中から様々な種類の音楽、バンドで活動する。Jane Ira Bloom, George Garzone, Sonny Fortune, などと共演する。そして2007年5月に卒業。現在ではRachel Zのバンドで、Blue NoteとDizy's Clubに出演。Jeremy Peltとも共演し、高い評価を得る。自己のバンドでも積極的に活動中。

佐藤浩一(p) 1983年横浜市出身。米・パークリー音大卒。5歳よりピアノを、16歳からジャズピアノを始める。洗足学園音楽大学でトム・ピアソン氏、元岡一英氏に師事。2005年洗足学園ジャズコンテストで「宮里陽太Quartet」としてグランプリを受賞。同年夏渡米・パークリー音楽大学に留学。JoAnne Brackeen, Alain Mallet, Danilo Perezらに師事。2006年「ピアノ/パーフォーマンス/アチーブメント賞」受賞。ノーステキサス・ジャズフェスティバルで「アウトスタンディングリソリスト賞」受賞。同校卒業後ニューヨークに移住。Kevin Haysに師事。2008年帰国し都内を中心に演奏活動始める。2009年にボストンでのレコーディングに招かれ、John Lockwood(b)やZe Eduardo Nazario(ds)らと共演。2010年には小林桂(vj)のレコーディングにもアレンジ兼ピアニストとして参加。2011年、ポニーキャニオンより初のリーダーアルバムをリリースし、メジャーデビュー。現在、自己のバンド「Bungalow」や自己のトリオをはじめ、Routine Jazz Quintet, hip chick(市原ひかり、倉内達矢、川内啓史、小笠原拓海)、大隅寿男(ds)グループ、布川俊樹(g)カルテット、安カ川大樹(b)グループ、橋爪亮賢(ts)グループ、市野元彦(g) rabbitoo、佐藤恭子(as)トリオ・クエストラなど、さまざまなバンドに所属する。横浜ジャズプロムナード、上田Jointなどの国内ジャズフェスティバルの出演や、上海・香港・台湾での公演など、活動は国内外を問わず多岐に渡る。

★公式HP <http://koichisato.com/>

小美濃悠太(b) '85年、東京生まれ。一橋大学社会学部研究科修了。幼少より続けていたエレキトーンを通じてジャズに出会う。高校に入学後、ジャズを演奏できる楽器を習得するために吹奏楽部に入部。コントラバスとエレキトリックベースを平行して学ぶ。大学進学後、千葉大学でダンス・ジャズ研究会に入部。本格的にジャズを学び始める。在学中から演奏活動を開始し、現在は東京を中心に首都圏全域で活動している。ジャズのフィールドにとどまらず、ポップスやミュージカルなど、幅広い分野で活躍している。ジャズベースを山下弘道氏、アルコ奏法を高瀬誠氏に師事。

永山洋輔(ds) 1986年7月13日生まれ。12才頃から父親の影響でドラムを始める。ドラムを岡野正典氏に師事し、高校の頃からジャズを聴き始め、ジャムセッション等に行くようになる。高校卒業後、洗足音楽大学ジャズ科に入学。ドラムを池長一美氏に師事する。現在は大学に通う傍ら、横浜や都内等で演奏活動を行っている。

8月21日 17:00 西口明宏カルテット@すみだパークスタジオ STUDIO Dede x D-musica ステージ

メンバー：西口明宏(Ts) 佐藤浩一(P) 安カ川大樹(B) 大村亘(ds)



西口明宏(Ts) 1980年兵庫県生まれ。中学入学と同時にビッグバンドジャズに出会いテナーサクスを手にする。立命館大学入学後、同大学や甲南大学のビッグバンドに所属。コンサートマスター、ソリストとして活躍。18歳より小曽根啓氏にサクスを師事。京阪エリアで演奏活動始める。2003年にボストン・パークリー音楽院より奨学金を獲得。同年単身渡米する。在学中に学生選抜ビッグバンドであるBerklee Concert Jazz Orchestraに所属。各地方をツアーし、地元ラジオ局、各地方ジャズフェスティバルに出演。また多数の著名プレイヤーと共演する。2006年にはニューヨークで行われた国際ジャズ教育協会のカンファレンスに同バンドで出席、演奏。好評を得る。在学中はGeorge Garzone(sax), Frank Tiberi(sax)にサクスを師事。Joe Lovano(sax), Hal Crook(Tb)にインプロヴィゼーション論、アンサンブル学を師事する。2006年卒業後、Ramiro Olacireguiグループのメンバーとして在エグアドルのアメリカ大使館により招かれツアーを行い好評を得る。同年活動拠点をニューヨークに移し、この間に多くのミュージシャンとセッションを重ねると共に、ジャズだけではなく、インディペンデントフィルム、ダンスなどと即興音楽での共演、ミュージカルでの演奏を経験。様々なジャンルのグループに加入し、ラテンから即興音楽まで幅広く活動する。2009年、坂田哲嗣氏プロデュースの作品、牧野竜太郎(vo)の「R.M.」にアレンジャーとして参加。たなかりか(vo)「Colors」にサクスプレイヤーとして、2010年Armored RecordsよりリリースのAxel-Schwitzer(p)の「Uncommon Sense」やYayo(vo)の「Introducing Yayo」に参加する。その他現地テレビ番組USN-TVに曲の提供や音楽教室、自宅レッスンでの講師活動も行う。2010年3月に活動の拠点を東京に移し、9月にレーベルD-Musicaよりデビューアルバム「Tre Agrable」をリリース。現在自己バンドや、ベーシスト安カ川大樹氏、ドラム手高瀬誠氏、ベーシスト高遠晴久氏、佐藤恭子アンサンブルなど様々なグループに参加するとともに後進の育成など精力的な活動を行っている。

佐藤浩一(p) 1983年横浜市出身。米・パークリー音大卒。5歳よりピアノを、16歳からジャズピアノを始める。洗足学園音楽大学でトム・ピアソン氏、元岡一英氏に師事。2005年洗足学園ジャズコンテストで「宮里陽太Quartet」としてグランプリを受賞。同年夏渡米・パークリー音楽大学に留学。JoAnne Brackeen, Alain Mallet, Danilo Perezらに師事。2006年「ピアノ/パーフォーマンス/アチーブメント賞」受賞。ノーステキサス・ジャズフェスティバルで「アウトスタンディングリソリスト賞」受賞。同校卒業後ニューヨークに移住。Kevin Haysに師事。2008年帰国し都内を中心に演奏活動始める。2009年にボストンでのレコーディングに招かれ、John Lockwood(b)やZe Eduardo Nazario(ds)らと共演。2010年には小林桂(vj)のレコーディングにもアレンジ兼ピアニストとして参加。2011年、ポニーキャニオンより初のリーダーアルバムをリリースし、メジャーデビュー。現在、自己のバンド「Bungalow」や自己のトリオをはじめ、Routine Jazz Quintet, hip chick(市原ひかり、倉内達矢、川内啓史、小笠原拓海)、大隅寿男(ds)グループ、布川俊樹(g)カルテット、安カ川大樹(b)グループ、橋爪亮賢(ts)グループ、市野元彦(g) rabbitoo、佐藤恭子(as)トリオ・クエストラなど、さまざまなバンドに所属する。横浜ジャズプロムナード、上田Jointなどの国内ジャズフェスティバルの出演や、上海・香港・台湾での公演など、活動は国内外を問わず多岐に渡る。

★公式HP <http://koichisato.com/>

安カ川大樹(B) 1987年兵庫県出身。幼少時からピアノを学び、明治大学でビッグバンドに入部したのを機にベースに転向。1991年プロ活動を開始。以後国内外を問わず数多くのセッションに参加し、現在まで参加したアルバムは優に100枚を超え、数々の名盤名演を世に送り出している。2009年 D-musica設立、同レール代表。2009年より昭和音楽大学 ジャズ科 非常勤講師に就任。リーダー作として2002年完全ベースソロによる「Let My Tears Sing」、同年トリオ、YA3による「Loco」、2004年安カ川大樹トリオによる「Kakeroma」(以上East Works)、また2007年には自身が主催するラージコンボによる「Far East Jazz Ensemble」(Skip Record)がある。全世界を舞台に活躍する、日本を代表するベーシストである。

大村亘(ds) 1981年東京都出身。幼少時からピアノを習い、クラシックピアノを通じて音楽と親しむ。人生のほとんどを海外で過ごす。オーストラリアの国立音大 Sydney Conservatorium of Music卒業後日本に帰国。増尾好秋、鈴木良雄、井上信平、安カ川大樹をはじめとする、国内の著名なミュージシャンと共演しながら、若手で頭角を現しはじめていく多くのミュージシャンと頻りに共演している。日本全国のみならず、中国、香港、オーストラリア、アメリカをはじめ海外の様々な国でも精力的に演奏活動を行いながら日々精進中。 <http://www.myspace.com/koomura>